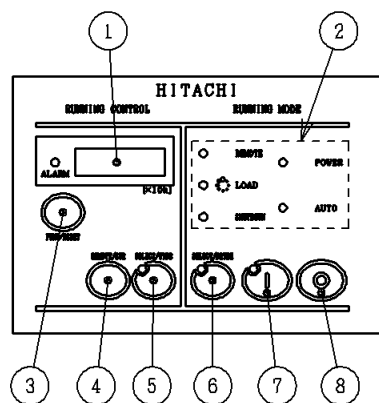
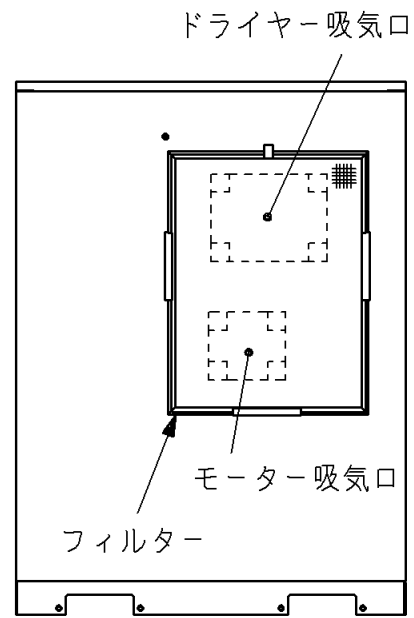
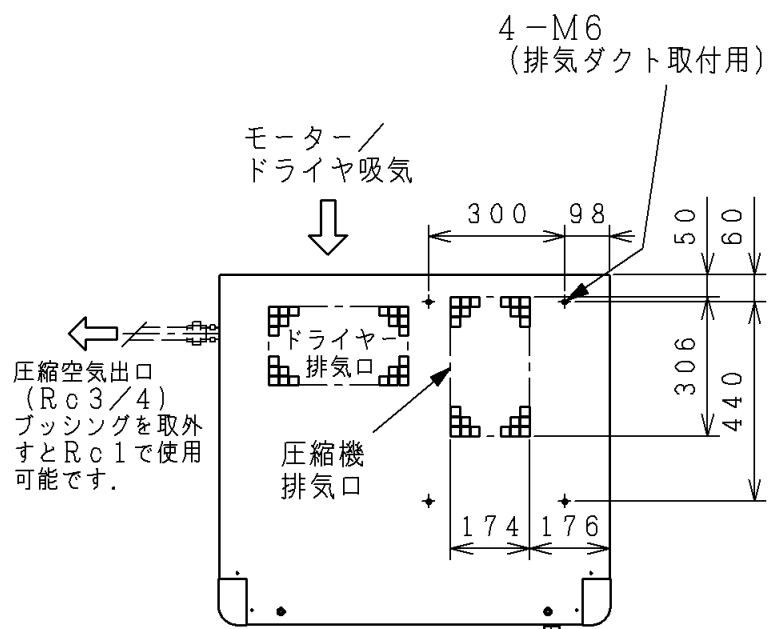


349S38485

計器パネル



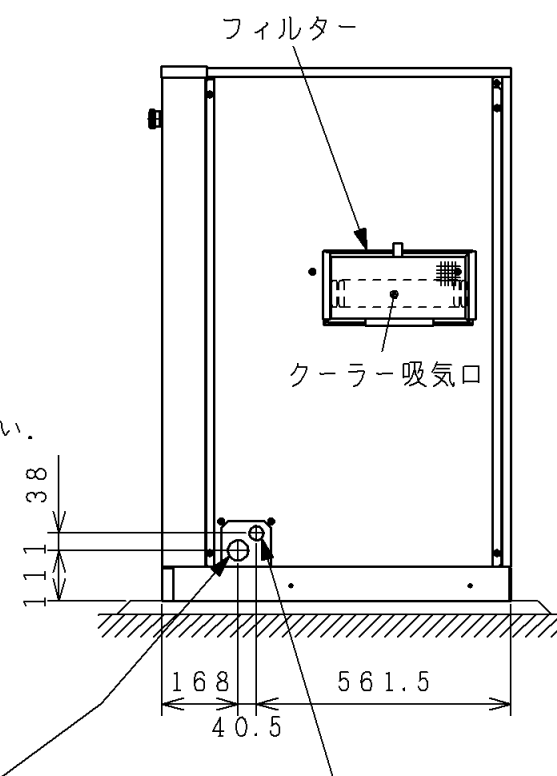
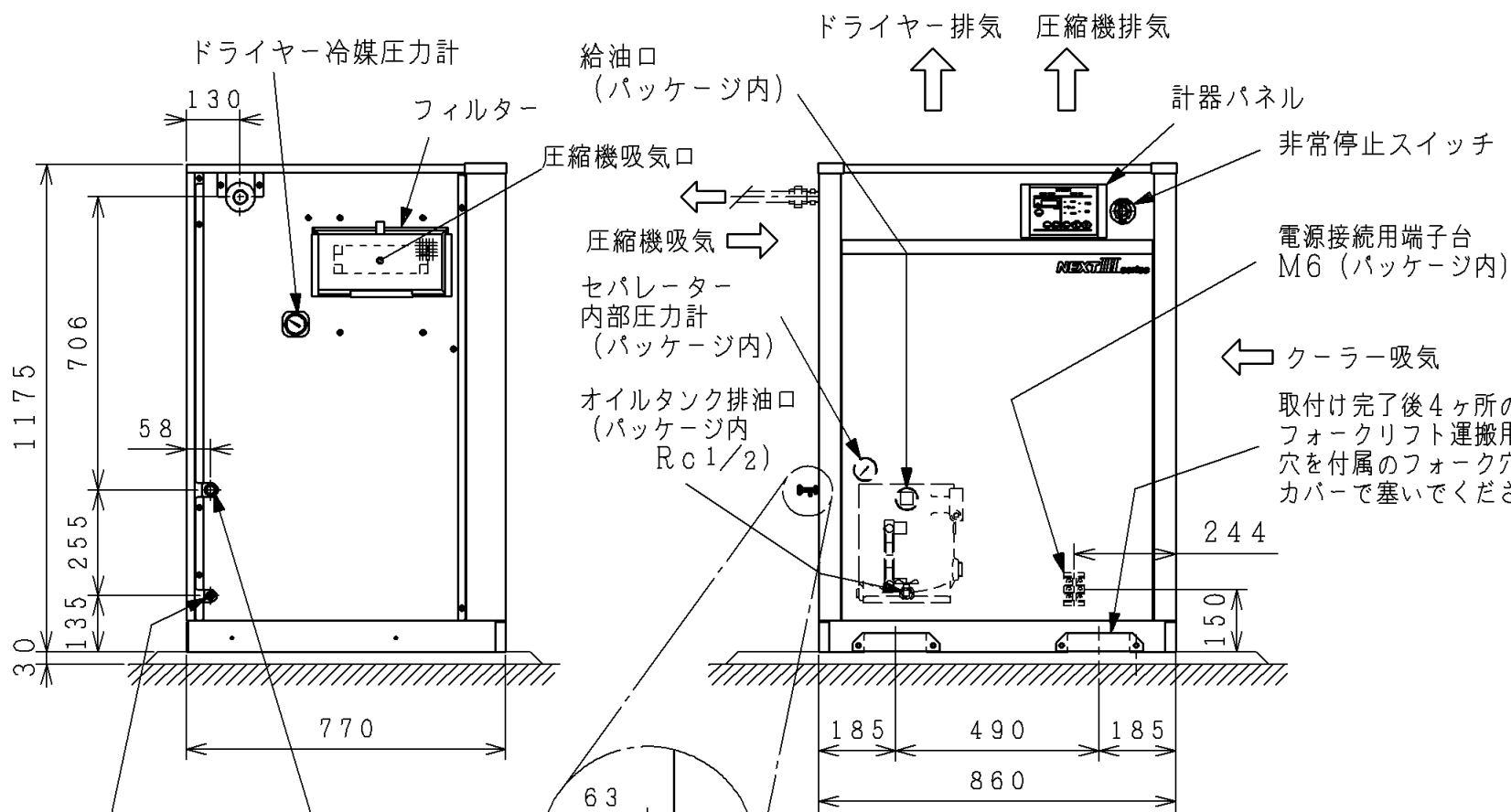
記号	記号説明	記号	記号説明
1	運転管理 (デジタルモニター)	6	表示切替/ドライヤースイッチ
2	運転状況	7	運転スイッチ
3	リセットスイッチ	8	停止スイッチ
4	遠方設定スイッチ		
5	表示切替/ワイドモードスイッチ		



【背面図】

仕様		型 式	OSP-7.5M5ARN3	OSP-7.5M6ARN3
吐出し圧力 (ゲージ圧力)	MPa		0.70/0.83/0.92	
吐出し空気量 (1)	m ³ /min		1.17/1.05/0.96	
雰囲気温度	℃		2~45	
電源周波数	Hz		50	60
電源電圧	V		展開接続図参照	
圧縮機軸動力	kW		9以下	
圧縮機最大電流	200V級 A		36.2	34.2
	400V級 A		18.1	17.1
主モータ出力	kW		7.5 [SF=1.2]	
主モータ入力電流	200V級 A		34	32
	400V級 A		17	16
必要換気風量	m ³ /min		99以上	
電源トランス容量 (kVA)	200V級		30以上	
	400V級		30以上	
電源ケーブル太さ (mm ²)	200V級		8以上 最大 14 (2)	
	400V級		3.5以上 最大 5.5 (2)	
出口露点 (3)	℃		10 (圧力下)	
	定格電流	200V級 A	2.22	2.24
質量	冷床機公称出力 kW		0.3	
	kg		315	
必要空気槽容量	m ³		0.15	

- 注1. 吐出し空気量は、圧縮機吸込み状態に換算した値です。吐出し空気量の保証値については別途ご契約ください。
 注2. 配線長さが10m以下の値です。10mを超えるときは、より太いケーブルが必要です。その際、中継端子等により圧縮機側では最大値以下になるようにしてください。
 注3. 出口露点は定格圧力時、周囲温度30℃の条件における値です。



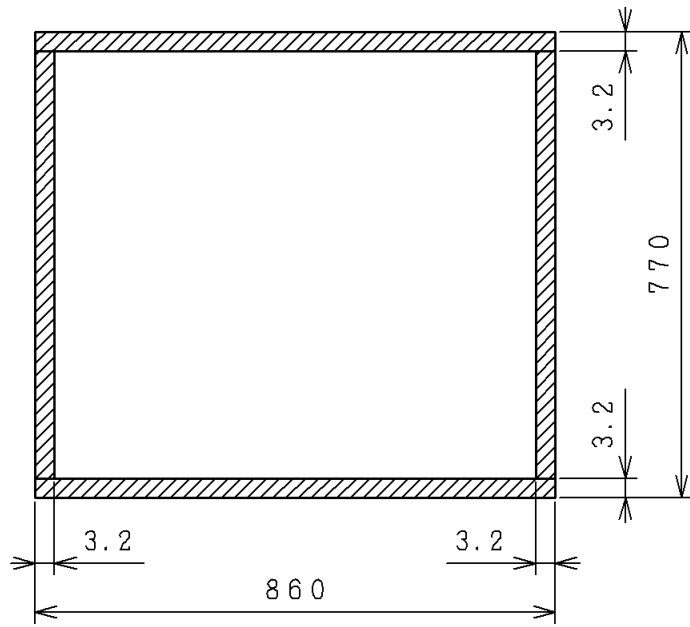
- ご注意
- 本機は空冷機ですので、狭い建屋に据付けますと、雰囲気温度が上昇します。雰囲気温度が45℃を超える場合は、圧縮機1台あたり表の排気風量以上の換気扇を取付けてください。
 - 据付時は、別図面【据付・配管上のご注意】に示すメンテナンススペースと、吸気口から熱気、塵埃が入らないよう考慮して、据付位置を決めてください。
 - 圧縮機は、床面が平滑な所に水平に据付けてください。
 - 通常は、基礎への取り付けは不要ですが、基礎打ちをする場合は、別図面【基礎ルト位置図】をご参照ください。
 - 地耐力が1t/m²未満の地盤では、基礎部に厚さ150mmの張出しを設け、底面荷重【全荷重(本体+基礎)/基礎底面積】を地耐力の1/1.3以下にするか、または杭打をして地耐力を増強してください。
 - 破断部の配管材は、貴社にてご用意ください。また、吐出配管において圧縮空気が冷却されると、ドレンが発生しますので、配管末端には必ずドレン排出バルブを設けてください。
 - 始動時には、漏電遮断器 (ELB) は含まれていませんので、貴社にてご用意ください。なお、ELBは日立製をご使用ください。
 - 必ず「アース」を取付けてください。接続口は始動盤内にあります。アース線の太さは14mm²、接地工事は、100Ω以下のD種接地としてください。電源電圧が400Vの場合は、10Ω以下のC種接地としてください。
 - 電源配線を立上げる場合は圧縮機右側面のカバーが分解できるよう500mm以上離してから立上げてください。
 - 必ず屋内に据付けてください。
 - 圧縮機吸気口、フィルターにダストが溜まると吐出温度高等、故障の原因となります。定期的にフィルターを清掃してください。
 - 電源電圧400V級の場合、ドライヤー用トランスが付属となります。トランス外形寸法は別図面【ドライヤー用トランス外形図】をご参照ください。

ドライヤードレン手動排出口 (ホース口金φ7) ピーコックは付属品として納入しますので、必要に応じて、図のように取付けて下さい。取付後ピーコックは「閉」にしてください。

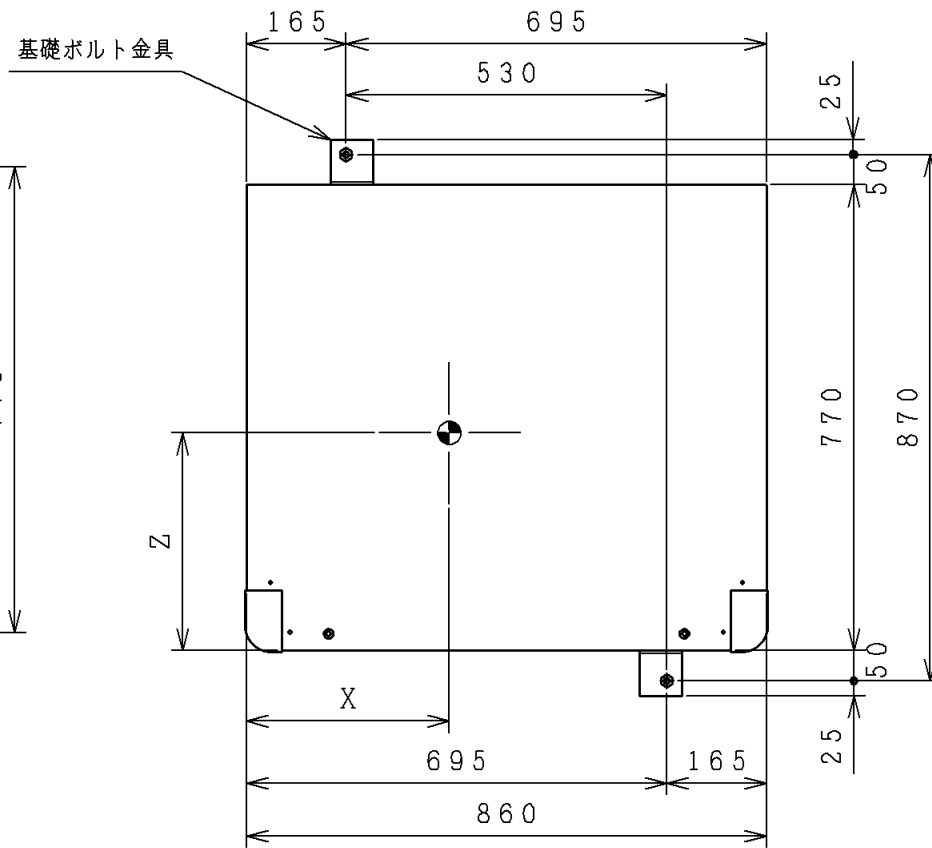


備考	記号				品名	投影法	尺度	承認者		
	年月日	訂正者	審査者	承認者						
	来 歴				日立SCREW NEXT III	NTS	清水図番	校 査	訂 正	入 庫
製図	カヅエ.ユ	2022-01-06	株式会社		日立産機システム					
審査	ヤマモト.ケ	2022-01-06								
承認	ヨリカネ.シ	2022-01-06								

349S38488



コモンベース接地面



基礎ボルト金具

コモンベースと床面の間に
モルタルを充填してください。

ご注意

1. 水平床面に据付けてください。
(水平度は6/1000未満としてください。)
2. 通常は基礎への取付けは不要ですが、基礎打ちする場合には、フォークリフト運搬穴用防音板に基礎ボルト金具を付属のM12×35Lの固定ボルトで取付け、M12×90Lの基礎ボルトで固定してください。
ただし、基礎ボルト取付け専用防音板、基礎ボルト金具、基礎ボルトM12×90L (M12ナット付)、固定ボルトM12×35L (パネ座金付) は、オプション扱いとなります。
3. モルタルは、ユニットが水平になる様に施工してください。コモンベース下部と基礎面は、隙間無く接するようにモルタルを充填してください。
平坦な床面に直接据付けて運転することもできますが、圧縮機の振動が大きくなったり、騒音値が高くなる可能性があります。
4. スキッドベース上に据付ける場合は、コモンベース底面図を参考にしてハッチング部がスキッドベースと全面で接するようにしてください。
この場合、スキッドベースの構造や、床面との隙間等により圧縮機の振動が大きくなったり、騒音値が高くなる可能性がありますのでご注意ください。

●: 重心位置
重心位置寸法

機種	X	Y	Z
OSP-7.5AN3	340	365	390
OSP-7.5ARN3	335	395	405

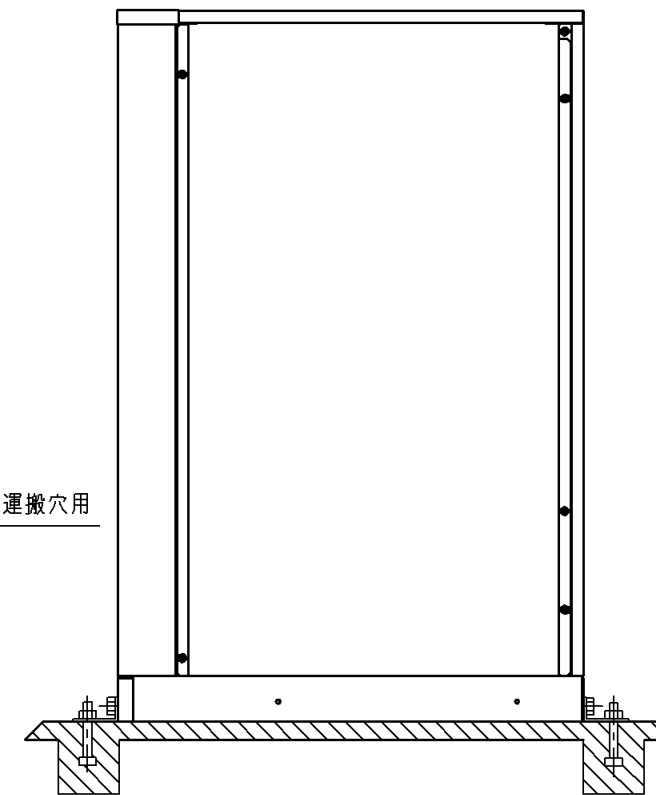
固定ボルト

2-M12×35

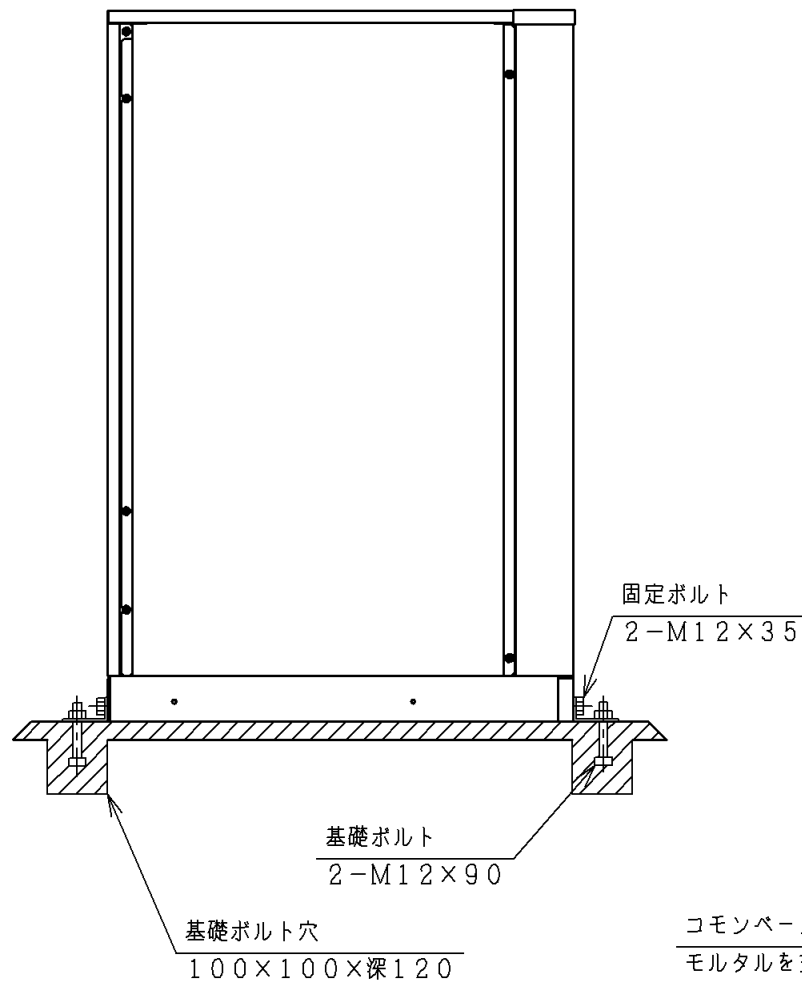
基礎ボルト

2-M12×90

基礎ボルト金具



基礎ボルト部拡大図



固定ボルト
2-M12×35

基礎ボルト
2-M12×90

基礎ボルト穴
100×100×深120

フォークリフト運搬穴用
防音板

記号	年月日	訂正者	審査者	承認者
	来歴			

備考	品名 SCREW NEXT III 基礎ボルト位置図	投影法 第一角法	尺度 NTS
----	----------------------------------	-------------	-----------

製図	カヅエ.ユ	2022-01-06
審査	ヤマモト.ケ	2022-01-06
承認	ヨリカネ.シ	2022-01-06

株式会社
日立産機システム

清水図番	校番	訂正	入庫
349S38488			2022 01-06